

## 平成30年度 第3回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨 (案)

日 時 平成30年11月9日 (金) 14:00～16:52  
 場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室  
 構 成 員 32名 (欠席者6名)

1号委員 (琉大病院長)	藤田 次郎
2号委員 (県立中部病院長)	本竹 秀光 (代理) 玉城 和光
(那覇市立病院長)	屋良 朝雄
3号委員 (県立宮古病院長)	本永 英治 (欠席)
(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林 (欠席)
5号委員 (沖縄県医師会長)	安里 哲好 (欠席)
6号委員 (沖縄県歯科医師会長)	真境名 勉 (欠席)
7号委員 (沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
8号委員 (沖縄県看護協会会長)	仲座 明美
9号委員 (沖縄県政策参与)	真栄田 篤彦 (欠席)
10号委員 (沖縄県保健医療部長)	砂川 靖 (代理) 糸数 公
11号委員 (琉大がんセンター長)	増田 昌人
12号委員 (琉大医療福祉支援センター長)	藤田 次郎
13号委員 (琉大薬剤部長)	中村 克徳
14号委員 (琉大看護部長)	大嶺 千代美
15号委員 (琉大事務部長)	熊谷 圭司
16号委員 (県立中部病院副病院長)	玉城 和光 (代理) 戸板 孝文
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
(那覇市立病院外科統括科部長)	宮里 浩
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
17号委員 (県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
(県立宮古病院副院長)	平良 弘子
(県立八重山病院副院長)	平良 美江
(県立八重山病院外科部長)	尾崎 信弘
(北部地区医師会病院副院長・看護部長)	柴山 順子
(北部地区医師会病院副看護部長)	我如古 春美
19号委員 (沖縄県がん患者会連合会事務局長)	安里 香代子
(がんの子供を守る会沖縄支部代表幹事)	片倉 政人
(公益社団法人日本オトミ協会沖縄支部長)	大城 松健
(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
20号委員 (国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
(沖縄タイムス編集局社会部記者)	新垣 綾子
21号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	吉見 直己
(琉大病院第一外科長)	西巻 正 (欠席)
(琉大病院小児科講師)	百名 伸之
(那覇市立病院放射線科部長)	足立 源樹
部会報告者 緩和ケア・在宅医療部会委員	笹良 剛史
情報提供・相談支援部会委員	樋口 美智子
ベンチマーク部会委員	伊佐 奈々
陪 席 者 琉球大学医学部附属病院地域医療部特命准教授	中島 信久
沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班主査	荻堂 麻紀子

## **議事要旨・議事録・委員一覧**

### **1. 平成30年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月15日開催)**

増田委員(11号委員)から、資料1の第3回幹事会議事要旨(平成30年10月15日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

### **2. 平成30年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(8月10日開催)**

増田委員から、資料2の第2回協議会議事要旨(平成30年8月10日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

### **3. 平成30年度2回沖縄県がん診療連携協議会議事録(8月10日開催)**

増田委員から、資料3の第1回協議会議事録(平成30年8月10日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

### **4. 協議会・幹事会・部会委員一覧**

増田委員から、資料4に基づき委員について、前回からは変更がないとの報告があった。

## **有識者報告事項**

### **1. 天野委員報告**

天野委員(20号委員)から資料5に基づき、学術集会、学会、がん研究などにおける患者・市民参画、P P I (Patient and Public Involvement)の現状について説明があった。

## **審議事項**

### **1. 部会申し合わせの改訂について**

増田委員から資料6に基づき説明があり、提案のとおり承認された。

### **2. 新しくなった「がん診療連携拠点病院等整備に関する指針」の対応状況について**

増田委員から資料7に基づき、幹事会の議論を含めた説明があった。

また、既存の指定要件である、症状説明時に看護師等医療支援関係等を同席することなどについて、各病院に所属する委員から、緩和ケア認定看護師等不足等により苦慮しており、完全に対応できているとはいききれないとの発言が多くあった。このことに関連して、仲座委員(8号委員)から、沖縄県看護協会が2年間で40名の緩和認定看護師を育成する計画があるとの報告があった。

### **3. 診療病院—拠点病院のグループ指定に伴う業務の完遂状況について**

増田委員から資料8に基づき幹事会の議論を含めた説明があった。

また、各病院に所属する委員から、各病院の現状について報告があった。その他、足立委員(21号委員)から、放射線治療については、県内の病院で情報共有の実施等により治療レベルが均一化が図られている旨の報告があった。

### **4. 第7次沖縄県医療計画(がん分野)における専門医療機関の掲載要件について**

増田委員から資料9に基づき説明があった。

また、以下の意見等があった。

- ・病院の機能分化と病院間の連携が重要になる。(埴岡委員(20号委員))
- ・薬物療法が、より効果的だがより複雑になっていくことを想定し、がんを診療する医師だけでなく、診療横断的な医師のサポート体制を構築できる病院が望ましい(朝倉委員(16号委員))
- ・表のフォーマットを、放射線治療に重きを置くがん治療について、手術・化学療法・放射線治療の3療法を併記してはどうか。(戸板県立中部病院放射線科副部長(16号委員玉城委員の代理出席))

## 5. 平成30年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員から、資料10に基づき、協議会日程(案)の提案があった。出席できない方が多いようであれば、日程調整するので、連絡いただきたい旨、補足説明があった。

## 6. その他

特になし

### 報告事項

#### 1. -1 患者会等よりの報告

片倉委員(19号委員)から、資料11に基づき、2月15日の国際小児がんデーと関連したがんの子どもを守る会の活動について、報告があった。

また、今年11月16日(金)から19日(月)にかけて、京都で国際小児がん学会と併催するCCI(Childhood Cancer International)国際小児がんの会に、第60回の日本小児血液・がん学会学術集会、第16回日本小児がん看護学会学術集会、がんの子どもを守る会を含めた3団体で公開パネルディスカッションを開催するとの報告があった。

#### 1. -2 患者会等よりの報告

真栄里委員(19号委員)から、当日配布資料に基づき、以下2点についてがん患者へのサポート体制の充足が図られたことの報告があった。

##### ①宮古島市の渡航支援について(当日配布資料)

今年10月から要綱改正に伴い、宿泊費が年2回支援されるなど、支援の充足があった。

##### ②沖縄県が作成したヘルプマークについて

今年10月に沖縄県が作成したヘルプマークが、がん患者も適用され、例えば体調がすぐれない時に障害者用駐車場を利用できるなど、サポート体制の拡張について報告があった。このマークの存在をより周知されれば、一層がん患者のサポートに繋がるだろうとの発言があった。

#### 1. -3 患者会等よりの報告

安里香代子委員(19号委員)から、当日配布資料に基づき、宮古島、久米島で開催したフォーラムについて報告があった。

また、アンケート結果から、以下3点について要望があった。

①(上記1-2①宮古島市の援助について)例えば同伴者の宿泊費援助は、患者が要介護認定される場合に限られるなどハードルが高い部分もあることから、更なる改善を希望する。

②宮古島、久米島の家族構成が1人暮らし又は2人暮らしが多いことから、有益な情報を得ていないことが多い。そのため、診療時に病院側からの十分な説明を行っていただきたい。

③重篤でない患者と重篤な患者が同室で入院する場合、多くの重篤でない患者は落ち込むことから、別室にするなど配慮いただきたい。

なお、フォーラムとは別に、第2回膵臓がんの患者の会を開催し、参加者から有意義なものとなったとの評を受けたことについて、報告があった。

## 2. 沖縄県のがん関連事業の今年度の進捗状況と来年度の計画について

沖縄県保健医療部系数保健衛生統括監(10号委員砂川委員の代理出席)から、資料12に基づき報告があった。

また、埴岡委員①の質問があり、陪席者の沖縄県保健医療部萩堂様から回答があった。

(質問)

①がん対策推進協議会の運営事業費の大幅な増加について

②新規事業である、がん検診充実強化推進事業の内容について

(回答)

①会議開催回数を前年2回から5回に増やしたことに伴う、見込みとしての予算増。

②検診機関の検査体制について実態調査を行い、より良い検診のあり方について助言を行うための事業。

### 3. 小児がん拠点病院について

増田委員から、資料13に基づき、報告があった。

また、百名委員から、拠点病院を目指し、申請準備中であることの報告があった。

### 4. がんゲノム医療中核拠点病院等について

増田委員から、資料14に基づき、報告があった。

また、藤田議長から本院が九州大学の連携病院になったことの報告があった。

### 5. がん教育について

増田委員から、資料15に基づき、報告があった。

また、天野委員から、教育対象者ががん患者本人である可能性、又は家族やご遺族にがん患者がいる可能性があることに配慮した内容あることを教材作成の際は留意してほしい旨の発言があった。

### 6. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

### 7. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

### 8. 沖縄県地域総括相談支援センターの活動報告について

増田委員から、資料16から資料18に基づき、報告があった。

### 9. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

増田委員から、資料19から資料30に基づき、報告があった。

また、資料20について、第1回がんゲノム医療推進コンソーシアム運営会議の委員である天野委員から、補足説明があった。

このことに関連し、藤田議長から、本院はがんゲノム医療連携病院になったことから、予約制であるが本院にゲノム医療外来を設置したいとの発言があった。

### 10. その他

特になし

## 部会報告事項

#### 1. 医療部会（報告なし）

#### 2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良緩和ケア・在宅医療部会委員から資料31に基づき緩和ケア・在宅医療部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

#### 3. 小児・AYA部会（報告なし）

#### 4. 離島・へき地部会（報告なし）

#### 5. 情報提供・相談支援部会

樋口情報提供・相談支援部会委員から資料32に基づき情報提供・相談支援部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

#### 6. ベンチマーク部会

伊佐ベンチマーク部会委員から資料32に基づき情報提供・相談支援部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

### その他

特になし